

# INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2020年12月25日

FUJITSUファミリー会論文（2019年度）で、当社従業員が執筆した論文が秀作論文として表彰されました。

FUJITSUファミリー会論文（2019年度）（\*）で、当社従業員が執筆した論文が秀作論文として表彰されました。

## ■研究テーマ

「保険金・給付金支払の手続期間を50%短縮」

- ・市村貴宏職員
- ・平田諭志職員
- ・秦野祐樹職員（以上、事業三部）

## ■概要

大同生命のシステム開発とその運用を受託している当社では、「働き方改革」が進展する中、保険金・給付金支払業務のさらなる効率化および、お客さま満足度の向上に取り組んでいます。

本論文では、お客さまから請求書を受領して支払が完了するまでの期間を短縮するため、業務内容・事務フローから課題を洗い出し、解決策として以下3施策の取り組み事例を紹介しました。

- ・「支払査定工程の自動化」
- ・「入院通算判断におけるAI導入」
- ・「データ入力の並列化とオフショアリング」

## ■受賞者のコメント

・より早く保険金・給付金をお客さまへお届けしたいとの思いで、事務の効率化およびシステム開発に取り組んでいます。今回論文を書くことで、今まで取り組んできた施策を振り返ることができました。開発当時は、実現方法にいろいろ悩みましたが、その集大成で今日のシステムができているのだとあらためて誇りに感じています。今後も、現状に甘んじることなく創意工夫をして、より良いものを作っていきたいと考えています。（市村貴宏職員）

・保険金・給付金支払業務の効率化のため、業務内容や手続きの流れを確認し、課題の洗い出し、解決策の検討を進めることで担当業務に関する理解を深めることができました。また本論文の執筆にあたっては、自身の取り組み内容を第三者へ正確に伝わるようまとめることの難しさを痛感しました。今後も、担当業務のさらなる効率化、お客さま満足度の向上に取り組んでいきたいと考えています。（平田諭志職員）

・本論文で紹介した3施策を実現するうえでさまざまな苦労があったので、課題に対する解決策を含め、システム開発の内容を評価いただけたことをうれしく思います。今回の受賞をモチベーションに、今後も保険金・給付金支払業務の効率化・お客さま満足度の向上に取り組んでいきたいと思えます。（秦野祐樹職員）

（\*）FUJITSUファミリー会は、1964年に発足、2014年度で創設50周年を迎えた歴史のあるユーザー会。会員数は約3,900会員、年間約400回のイベントを開催し、情報通信システムのユーザー団体としては国内最大規模。「人財育成」「情報収集」「異業種交流」の3本柱を目的として活動しており、2018年度ファミリー会論文では「会員企業の課題解決に役立つICTを活用した事例」をテーマに論文を募集しており、自己成長・人材育成と、自社の取り組みを広く社外にアピールできる場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101